



2022年度 第2号

6月8日(水)

発行:名寄高校進路指導部

愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ

なぜ勉強するの？

良い点数を取るため？良い大学に入るため？良い企業に入るため？

選択できる喜び

財布に100円が入っているA君は、買えるモノは100円分。当たり前。

財布に10000円が入っているB君は、買えるモノは10000円分。これも当たり前。

両シチュエーションとも、持っているお金の分しかモノを買うことができないのは同じ。

しかし、A君とB君の置かれている立場は全く違う。

A君に認められた選ぶ権利は100円分。

B君に認められた選ぶ権利は10000円分。

モノを買う時に最高なのは商品を選んでいる時間。

どれがいいかって妄想する時。

たくさん予算があればいろんな商品を見て、いっぱい妄想もできる。

少ない予算だと選択できる商品は限られて、諦めることをしなければならない。

「予算」＝「学力」

「商品」＝「進路」

みんなには

諦めた先の進路ではなく

様々な場所から自分で選択した先の進路を歩いてほしいな

道は自分で創る

視点が高い人は遠くの景色(未来・過去)を見渡すことができる。

視点が低い人は近くの景色(現在)しか見ることができない。

歴史をよく知る人は、過去の歴史から未来の歴史を予測することができる。

科学をよく知る人は、様々な事象を予測することができる。

言語をよく知る人は、様々な文化・価値観に触れ、新しいモノを創造する力をもつ。

勉強するということは、自分の視点をより高くすること

みんなには

遥か彼方を見渡せる視点を身に付け

進むべき道を自分の力で創造して行ってほしいな

勉強しなきゃよかった・・・と後悔している人に今まで一度も出会ったことがない

賢者になれる可能性・・・名高生にはある